

(様式2)

## 県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取商業高等学校

重点項目	専門人材育成	提出日	令和3年4月27日
1 学校目標	地域の産業経済界をリードし、活躍する人材を育成する		
2 重点項目に係る目標・成果			
	目標	成果	
<数値目標>	<数値結果>		
(1) 就職内定率、進学合格率とも100%	(1) 就職内定率、進学合格率とも100%		
(2) 全商検定1級3種目以上取得者 50%以上(3年卒業時)	(2) 全商検定1級3種目以上取得者 51.1%(97名、3年卒業時)		
(3) 鳥商デパート売上げ1000万円以上、来場者数1万人以上	(3) 鳥商デパート(家族限定公開) 売上げ374万円、来場者数962人 客単価3,741円(過去最高)		
3 実施事業			
【独自事業】 事業名：商業教育推進事業			
事業概要：1. 第6回鳥取県商業教育フォーラム	2. 1年ビジネス基礎研修		
3. 1年ビジネス体験実習	4. 2年研修旅行		
5. 鳥商デパート	6. 企業とのコラボによる商品開発(地元企業との連携)		
4 総合所見(成果・評価)			
<p>コロナ禍のため、上記独自事業のうち1、3、4、6は実施できなかった。特に4は、東証一部上場企業、各種上級学校(大学、専門学校等)で研修する2年進路指導の要であり、10月から2月へ延期、そして中止となったことは痛手であった。5は鳥商教育の集大成であり、年度当初より生徒経営委員会(生徒社長・副社長、販売・管理・イベント・広報の各部で構成)は感染防止対策を模索し、家族限定公開で開催することができた。</p> <p>数値目標(1)の達成は本校に課せられた使命である。コロナ禍にもかかわらず就職内定率100%を達成できたことは、地域の産業経済界における本校の位置を表している。就職試験2ヶ月後の全員内定は本校史上最速である。結果(2)については、資格検定週間の設定(年3回)、平日や長期休業中の補習実施等による指導体制が功を奏したと考えられる。なお、1級3種目以上取得者97名は本校史上最高である。結果(3)については、家族限定公開により来客者数は例年の10分の1であったが、混雑がなくじっくりと商品を選ぶことができた等の理由により、客単価は前回比2.7倍という過去最高を記録した。</p> <p>コロナ禍は教育活動に想定外の影響をもたらしたが、卒業生一人ひとりが自身の進路目標を達成できたことは大きな成果である。生徒たちが人間的に成長して進路目標を達成できるように、教員集団の智慧を結集し鳥商教育のより一層のレベルアップを図っていきたい。</p>			